



中小企業のベストパートナー

千葉県信用保証協会

■本店

〒260-8501 千葉県千葉市中央区中央4-17-8 千葉県自治会館内
TEL.043-221-8181

■松戸市店

〒271-0091 千葉県松戸市本町7-10 ちばぎん松戸ビル 4F
TEL.047-365-6010



千葉県信用保証協会

基本理念

私たちは
創造性豊かな中小企業のよきパートナーとして
多様で活力ある成長と繁栄を
サポートします。

～千葉県信用保証協会～

千葉県内全企業に占める中小企業の割合

千葉県内 中小企業	120,789 企業	99.8% ※1
千葉県内 全企業	121,018 企業	

私たちは、公的な保証人として、
県内中小企業を支えています

保証債務残高

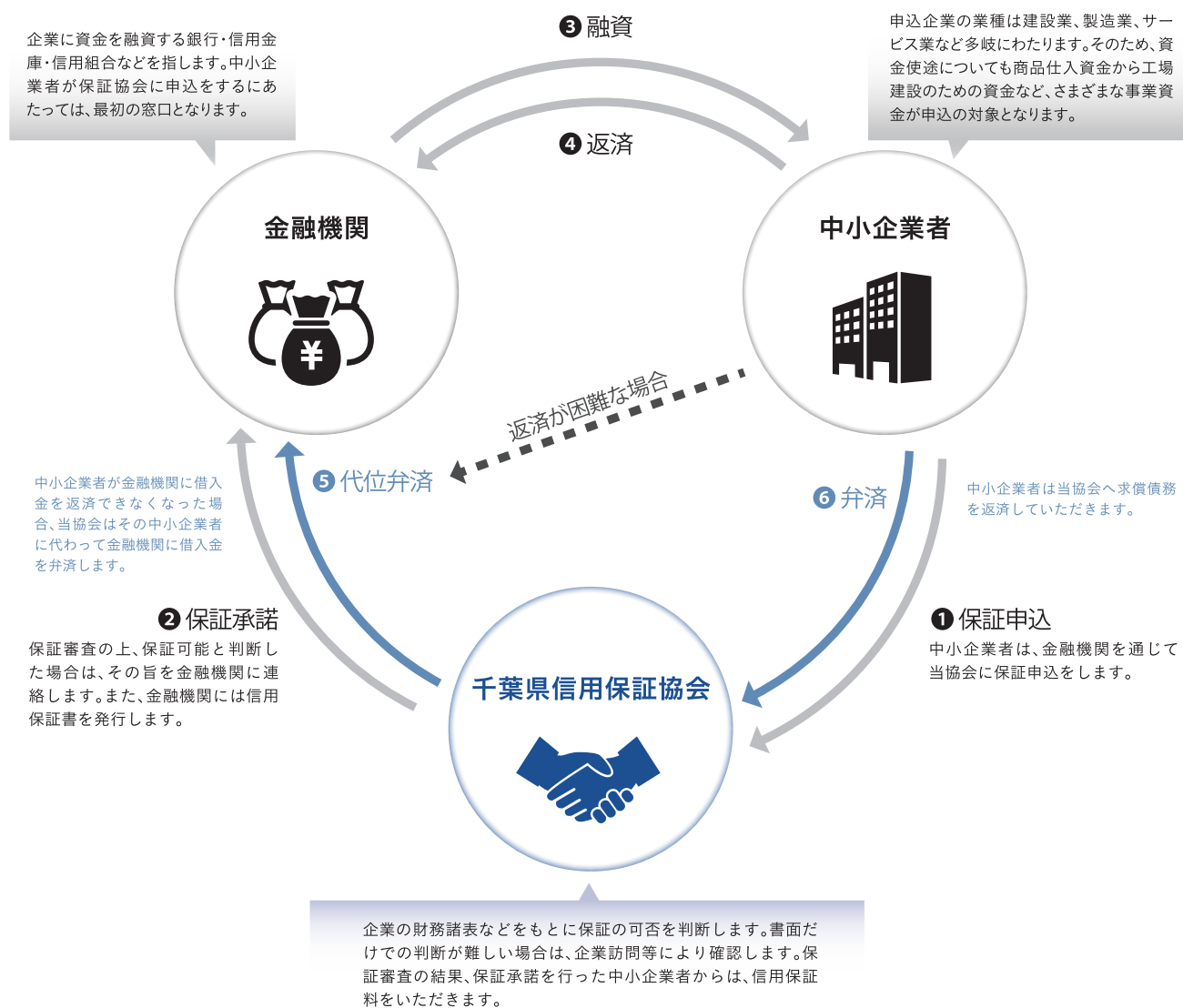
1兆5,063億円 ※2

※1 千葉県内企業数に対する中小企業数（非一次産業）の割合。「中小企業白書2022年版（中小企業庁編）」より引用。

※2 2022年3月末時点

公平中立な立場で「信用保証」ができるのは保証協会だけ。 地域金融に欠かせないオンリーワンの存在です。

信用保証制度のしくみ



金融機関と中小企業者の間で、金融の円滑化を図ります。

大企業ほど経営基盤が安定していない中小企業は、財務内容や担保の面でも信用力に限界が有り、資金調達を計画してもスムーズに融資が受けられないことがあります。しかしそれでは事業の経営に真面目に努力し、多様な可能性を秘めている中小企業の成長を妨げてしまいます。

そうした中小企業の資金繰りの悩みを解決すべく、中小企業が金融機関から事業資金を調達する際に、私たち千葉県信用保証協会が「公的な保証人」となり、迅速かつスムーズに資金調達できるよう支援しています。

専門性を発揮し、中小企業の成長と発展をサポートする4つの部門



企業の中に埋もれている信用力を発掘し
保証の可否の判断につなげます

保証審査部門

お客様である中小企業は、金融機関を通じて当協会に保証申込を行います。その保証申込の審査を担当するのが当協会の中核業務である保証審査部門です。財務諸表の分析などの書面審査だけでなく、実地調査により企業の現状と将来性を見極め、資金の必要性和返済の見通しを判断しながら保証の可否を決定します。



创业者の挑戦を応援し、夢を叶えるサポートをします

創業支援部門

「創業サポートチーム」は、これから事業を始める创业者や創業して間もない企業の保証審査を担当しています。専任担当者は保証審査だけでなく、3年間の定期的なモニタリングも実施しており、事業を軌道に乗せたり、更なる成長に向けた相談などを行っています。また、関係商工団体と連携した相談会、創業セミナー・スクールの開催などを通じ、中小企業者の創業に関する要望に積極的に応えています。



関係機関と協力しながら、様々な課題を抱える企業を支援します

経営支援部門

「経営サポートチーム」は、保証利用額の多い大口企業や経営改善が必要な企業に対して、専任担当者が定期的なモニタリングを実施し企業が抱える様々な課題に対して支援策を検討します。近年では事業承継・海外展開支援についても力を入れており、セミナーの開催により中小企業者へ必要な知識の提供を行っている他、事業承継計画の策定支援も行っています。「再生サポートチーム」は、経営状況の厳しさから苦境に立つ中小企業者に対して、抜本的な再生計画の策定支援や各種再生スキームを担当しています。再生スキームを進めるにあたっては、金融機関や中小企業再生支援協議会などの外部の関係機関とも連携しながら実施しています。

中小企業のための公的機関として、
双方にとってメリットのある解決策を探ります

債権管理部門



事故報告の受付から代位弁済、代位弁済後における求償権の回収を担当しているのが、債権管理部門です。事故報告とは毎月の返済が遅延した中小企業者について、金融機関が協会に報告するものであり、保証協会は報告を受けた企業について経営状況を見極めつつ、代位弁済の可否を判断します。債権回収については、公的機関として中小企業を支援する立場にあることから求償債務返済の問題解決とともに図る姿勢で臨んでいます。中小企業者と当協会の双方にとってメリットがある解決策と返済方法を、時には弁護士を交えながら検討します。

保証審査部門

松戸支店 保証課

江本 かおり 2018年 入協

親が元銀行員で、中小企業の成長発展に寄与できる保証協会の存在を知り、興味を持つ。大学まで富山県で過ごしていたが、妹が千葉県の大学に進学していたことから千葉県への就職を決意。離職率の低さや有給休暇の消化率等も当協会入協の決め手になった。

書類から経営状況を読み、
保証審査を行っています

創業支援部門

成長サポート部 創業サポートチーム

櫻井 崇好 2016年 入協

大学時代、就職活動を行うなかで「日本経済を支える中小企業をサポートしたい」と考えるように。複数の金融機関や保証協会から内定を得るなかで、職員の人柄の良さから当協会を選んだ。「さまざまな業種の知識が身につき、自身の成長を実感できる仕事です。」

多くの可能性を秘めた
新事業の立ち上げに尽力したい

1日のスケジュール

出社後、準備

出社したら、まずはメールを確認。

8:45 業務開始

▼ 課長から審査案件が配布され、担当する企業が決定。

12:00 昼食

▼ 頭を使うため、エネルギー補給も重要。昼食は自分でつくったお弁当を持参して、社内にていただきます。

12:30 休憩

▼ 少しでも仮眠を取ると脳がリフレッシュして、午後の業務にも集中できます。

13:00 業務再開

▼ 午後の審査スタート。不明点や不足書類がある場合は、金融機関へ電話で確認。

15:00 接客

▼ 新規出店を計画している経営者から、資金調達について窓口相談を受ける。

17:00 退社

マニュアル化できない分、 学びがいのある業務です

保証課では、金融機関からの申込書や決算書を読み込み、その企業の申込金額が妥当かどうかを判断し、保証可否を決める書類を作成します。通常は1日あたり約5企業の審査をしますが、繁忙期になると、約10企業を担当することも。このため、審査の精度を上げることはもちろんのこと、業務の効率化を意識しています。例えば、金融機関の担当者がいる時間帯に質問事項を照会したり、不足書類の依頼をすることで、できる限り迅速に書類を作成できるように心がけています。担当する企業は、一社ごとに業務内容が異なりますし、経営状況や過去の借入金額など、なにひとつとして同じケースはありません。まだまだわからないこともあり先輩に頼る部分もありますが、業種毎の特性や財務分析など、勉強して得た知識を直ぐに業務に活かすことができるので学びがいがあります。現在は入協2年目。今後も知識を増やしながら、結婚や出産を経ても長く働いていきたいです。



先輩から一言

松戸支店 保証課
海野 瞳 2013年 入協

成長が早く、将来有望な後輩です

江本さんは工作中、よくメモを取りながら業務内容をぐんぐん吸収していて、持ち前の頭の良さと努力により成長が非常に早い！スキルの高い審査担当者になることを期待しています。

1日のスケジュール

出社後、準備

1日のスケジュールを確認。

8:45 業務開始

▼ 朝礼の後、その日に訪問する企業の書類などを準備。

9:00 企業訪問

▼ 企業訪問のため外出。場所によって、電車と車を使い分ける。

10:30 現地面談

▼ 創業者のもとへ出向き、面談。創業計画をもとに実現可能性や審査項目を確認。

12:00 昼食

▼ 昼食は外出中に取ることが多い。県内各地で美味しいお店に出会うことも楽しみ。

14:00 報告書作成

▼ 午前中に訪問した企業の面談報告書を作成。

17:00 退社

事業の成功可能性を探り、 サポートをする仕事

創業サポートチームでは、これから事業を始める創業者や、創業して1年未満の企業のサポートを行っています。具体的には、金融機関の担当者とやり取りを行った後、創業者と面談を行い、保証可否を決める書類を作成します。難しい点は、扱う企業に決算書といった実績に基づいた数値がないこと。また、頭のなかに事業のビジョンはあるものの、それを計画にうまく落とし込めていない創業者も少なくありません。こういったなかで、どれだけ創業者から創業計画の妥当性や想いをヒアリングできるのかが重要になってきます。面談で事業の成功可能性を丁寧に探り書類を作成した結果、保証審査が通り、創業者からお礼の言葉をいただくとても嬉しい気持ちになります。創業者の夢の実現に関われることを、やりがいに感じます。創業者にとって資金調達や経営アドバイスは非常に大事なものであり、共に成長するパートナーのような存在になっていきたいと思っています。



先輩から一言

成長サポート部 創業サポートチーム
中小企業診断士
水橋 達郎 2006年 入協

仕事も野球もがんばっていきましょう

櫻井くんは、忙しい時期でもひとつひとつの業務に対して丁寧に対応をしている姿が印象的です。日々の業務だけでなく、土曜日の野球部の練習にも積極的に参加していて、頼りになる存在です。

経営支援部門

成長サポート部 経営サポートチーム
中小企業診断士

鶴岡 智博 2008年 入協

情報システム課に在籍していた2015年に、協会の診断士育成プログラムを受けながら対策を行い中小企業診断士の一次試験に合格。翌年、中小企業診断士養成課程を経て資格取得。中小企業診断士の知識を活かし、顧客ニーズに迅速かつ丁寧な対応を取ることを心けている。



お客様の目線に立ち
経営支援を行っていきたい

1日のスケジュール

出社後、準備

1日のスケジュールを確認。

8:45 業務開始

▼ 午後に出席する経営サポート会議の資料準備を行います。

10:30 打ち合わせ

▼ 担当企業の支援方針について、上司を交え、外部専門家と打ち合わせを行います。

12:00 昼食

▼ 他部署の同僚と休憩室で食事。リフレッシュして午後の業務に備えます。

13:00 外出

▼ 事務局として経営サポート会議に出席。社長、金融機関、協会の3者で今後の経営方針を確認します。

17:00 報告書作成

▼ 帰社。参加した会議の報告書を作成。外出中にあった問い合わせの対応も行います。

18:00 退社

主体的に経営者と 関わる姿勢が求められます

企業には、創業期、成長期、安定・成熟期、転換・再生期などのライフステージがあります。経営サポートチームが担当するのは、このうち成長期、安定・成熟期、転換期を迎えた企業。経営課題を抱える企業のもとへ外向き、外部の専門家と連携し、課題解決に向けた経営改善計画の策定支援を行っています。また、大口企業も担当しており、定期訪問時には経営に関する相談やアドバイスをしています。このほか、企業が経営改善計画等を説明する経営サポート会議の事務局として取引金融機関へ参加を呼びかけたり、事業承継セミナーや海外展開セミナーなどの企画運営も行っています。経営支援業務は、経営者に対して能動的に課題を聞き出し、必要な支援を提案していくスキルが求められるため責任重大ですが、その分、担当企業の課題解決につながると達成感があります。これからも取得した中小企業診断士の知識を活かして、お客様の目線に立った経営支援を行っていきたいと思います。



後輩から一言

成長サポート部 経営サポートチーム
尾崎 孝一 2016年 入協

頼れる先輩として尊敬しています

仕事で私が悩んでいるときなど、先輩のほうからよく声をかけてくれるため、安心して業務に臨むことができます。仕事の話以外の相談もできる頼れる兄貴分的な先輩で、目標としている存在です。

千葉県信用保証協会が取り組む中小企業者へのさまざまな経営支援

中小企業は多様な可能性を秘めている一方で、大企業と比べ経営資源に乏しく、さまざまな経営課題を抱えています。当協会では創業期から成長期、安定・成熟期、転換・再生期といった企業のライフサイクルに応じて、中小企業者への経営支援を行っています。



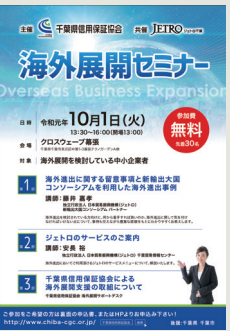
● 千葉県中小企業支援ネットワーク会議

金融機関、中小企業支援機関、専門家団体、国や県などで構成される中小企業支援のためのネットワークで、中小企業支援施策や各金融機関による経営支援状況の情報共有を行っています。当協会が千葉県中小企業支援ネットワーク会議の事務局を務めており、会議運営の重要な役割を担っています。

● 経営改善計画策定支援事業

国が実施する認定経営革新等支援機関による「経営改善計画策定支援事業」により、中小企業診断士や税理士などの専門家と連携し、経営改善計画策定の支援を行っています。また、当協会が事務局となり、中小企業者、取引金融機関、保証協会が一堂に集まる「経営サポート会議」を開催し、中小企業者と取引金融機関の架け橋的な役割を担い、サポート体制を構築しています。

〔各種経営支援メニューのリーフレット〕



● 創業スクール

創業を志す方の大半は会社経営の経験がありません。創業スクールでは、ビジネスプランの重要性をはじめ収益計画の作成ポイントや販売促進方法など、創業に必要な知識を講義とグループワークで学べます。創業者の「熱い想い」を創業計画書という「形」にする支援を行っています。



● 事業承継セミナー

中小企業のうち65歳以上の経営者は全体の約4割を占めており、中小企業は経営者の高齢化や後継者不足などの事業承継問題に直面しています。当協会では、中小企業の貴重な技術や雇用の維持のため、「現経営者から後継者への事業のバトンタッチ」が円滑に行われるように、事業承継支援に注力しています。

教育・研修制度

入協前研修

新入職員研修

OJT制度

階層別研修

課題別研修

入協前研修
新入職員研修

入協前研修は、2ヵ月に一度ビジネスマナー研修や先輩職員との座談会等を行います。また、通信教育を受講してもらうことにより、必要な知識を身につけてもらったうえで、入協時の新入職員研修に臨んでもらいます。新入職員研修では実際に業務で使用するシステムを使ってトレーニングした後、現場に配属となります。配属後は年に数回フォロー研修を行い、仕事の悩み等を共有する機会を設けることでスムーズに成長できる環境を整えています。

OJT制度

保証協会の業務に必要な知識は短期間で身に付くものではなく、様々な案件を担当することで知識を少しずつ積み上げていく必要があります。OJT制度はそんな新入職員の成長を支えるための仕組みであり、入協してから1年間、先輩職員からマンツーマンで指導を受け、1人前になるまでサポートを受けられます。年齢が近い先輩職員がいつも隣にすることで疑問点が解消され、安心感をもって仕事に臨めます。

階層別研修

新入職員、主任、係長、課長補佐、課長、部長と各キャリアで必要とされる知識とスキルの習得を図ります。全国の保証協会が参加する研修であり、他県の保証協会職員との交流を行う機会も数多く用意されています。

課題別研修

審査、回収、法律、経営支援、顧客対応などの各専門知識とスキルの習得を図るため、全国の保証協会が参加する研修が毎年数多く用意されており、所属部署・年次に応じて受講しています。研修はグループワーク中心のものが多く、参加者と積極的に意見交換を行うことができる有意義なものとなっています。
※階層別研修と課題別研修をあわせて年間100人の職員が研修を受講しており、能力育成、キャリアアップを図っています。



各種資格・検定取得のサポート

信用調査検定

全国信用保証協会連合会が主催する信用調査検定を多くの職員が受験。財務分析の知識はもちろん、経営支援やカウンセリングスキルなどを習得します。

●初級(ベイス)

・財務諸表の基礎・基本的な財務分析の知識
・中小企業をめぐる動向や課題

●中級(アドバンス)

・財務諸表の見方・応用的な財務分析の知識
・中小企業をめぐる動向や課題

●上級(マスター)

・企業力の評価と企業支援に関する知識
・経済・時事情勢、会計情報等の知識
・カウンセリングスキル、プレゼンテーションスキル等

中小企業診断士

診断士育成プログラムにより、中小企業診断士の資格取得を奨励しており、第一次試験の受験準備の費用を当協会が負担しています。また、第一次試験を突破した合格者を、当協会の費用負担により中小企業大学校に派遣しており、養成課程を修了すれば中小企業診断士の資格が取得できます。当協会では29名の中小企業診断士が在籍しており、学んだ知識を活用しながら中小企業者の課題解決に向けて活躍の場を広げています。

通信教育と各種資格の取得

通信教育は100種類以上のメニューが用意されており、その中から毎年自分が興味のあるものを選択して学ぶことができます。いつでもどこでも自分のペースで学習ができることから、毎年多くの職員が受講し、様々な知識を身につけています。また、宅地建物取引士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナーといった業務に役立つ資格取得も推奨しており、当協会の補助を受けて学ぶことができます。

子育てサポート企業として、育児と仕事の両立を支援

Work-Life balance
ワークライフバランス

育児と仕事を両立させ 後輩のロールモデルに になりたい

成長サポート部 創業サポートチーム

中里 民恵 2011年 入協

産前8週間、産後8週間の産休期間を経て、現在は育児休暇中です。妊娠前は外出も多くありましたが、産休に入る少し前から外出の頻度や場所の配慮をしてもらい、感謝しています。時短勤務を選択している女性職員も多く、制度が浸透していて周囲の理解が得られていると感じており復職後の不安もありません。これから産休・育休を利用する後輩職員のためにも、利用しやすい風土を守っていきたいです。



職員が心身ともに充実した状態で効率よく業務を遂行していくために、当協会ではワークライフバランスの充実に力をいれています。特に力をいれているのは子育て支援の部分であり、次世代育成支援対策法に基づく一般事業主行動計画の達成により、令和元年度に第4回目のくるみん認定を取得しています。
育児休業休暇制度・育児短時間勤務制度等の拡充、ノー残業デー・ノー残業ウィークの実施、永年勤続休暇・記念日休暇などによる有給休暇取得の促進により、職員の仕事と育児の両立を支援しています。

福利厚生 クラブ活動が盛んでアットホームな社風

当協会ではオフタイムの充実も最大限に応援しており、厚生年金基金、住宅・厚生資金融資、財形貯蓄、医療費補助、職員一人ひとりの人生設計に沿った多彩なライフプランメニューを用意しています。

また、各種クラブ活動として野球部・サッカー部・ゴルフ部が活動しており、週末に集まって練習や試合を行っています。他県の保証協会との合同練習や大会等も行っており、スポーツを通じて交流を深めています。



野球部



サッカー部

